

## バックプレーン (S1BKP1001) ユーザーガイド

### ・概要

バックプレーン (S1BKP1001) は、サブラックに取り付け、プラグインユニットを装着するためのバックプレーン基板です。



S1BKP1001

### ・仕様

- ・バックプレーンコネクタ：DIN41612 規格、Type-C、96 pin
- ・プラグインユニット実装数：10 最大
- ・電源供給端子：M3 ネジ端子（2）
- ・インターフェース信号：M-LVDS 差動ライン(8ch)、CAN バス(1ch)、パラレル信号(31)
- ・PCB 外形寸法：129.5mm × 198mm （基板厚：2.0mm）

## ・免責事項について

本書に記載されている使用方法と異なる使い方をした場合、または本書に記載されていない方法で使用した場合、その結果で生じる直接的、間接的な損害に対して、当社はいかなる責任も負いません。また利益の損失、物理的な損失、その他いっさいの費用について責任を負いません。

## ・製品の用途について

本製品は、電子回路システムの試作、実験、検証を想定して設計、製造されています。下記に示す人命、重大事故に関わる機器、装置には絶対に使用しないでください。

- ・医療用機器
- ・航空、宇宙関連装置
- ・有毒な液体、気体を扱う装置
- ・原子力設備などの放射能を取り扱う装置

## ・注意事項



本製品を取り扱う際には、十分に静電気対策を行ってください。

---



電源を入れた状態でのコネクタの抜き差しは、絶対に行わないでください。

---

## 1 回路構成の詳細

本製品を使用する前に、接続図、部品表で回路の詳細をご確認ください。接続図、部品表は製品情報ページからダウンロードできます。

## 2 サブラックへの取り付け

### 2.1 適合するサ布拉ック

VME システム用に市販されているサ布拉ックで、シングルハイトのタイプに適合します。S1BKP1001 の幅は 198mm なので、ハーフサイズ（約 230mm 幅）のサ布拉ックに取り付けられます。フルサイズ（約 443mm）のサ布拉ックには、2 枚取り付けることができます。

サ布拉ックの種類によっては、上下にパネル（カバー）を取り付けられるタイプがありますが、S1BKP1001 を取り付けるためのフレーム部品を使用した場合、パネルを取り付けられないケースが大半です。

### 2.2 取付時の注意点

- ご使用するサ布拉ックの取扱説明書を確認して取り付けてください。
- バックプレーン取り付けねじのサイズを選択できる場合があります。（M2.5, M3）
- 最初から本締めせず、仮組みしてプラグインユニットの挿抜に問題が無いことを確認してください。



図 2.1 サ布拉ックの例（ハーフサイズ）

### 3 カスタムボードの作成

カスタムボードの作成をサポートするために、主要な製品で下記の資料を公開しています。

- ・回路図
- ・部品表
- ・PCB CAD データ（基板外形とコネクタのみ）
- ・PCB CAD 共通ライブラリ（コネクタ部品）

PCB CAD データは KiCAD (注 1) で作成しています。基板外形とコネクタを配置したデータとなっていますので、カスタムボード作成のテンプレートとして、または基板外形、コネクタ配置の確認などにご利用ください。

注 1 : KiCad は、オープンソースの EDA ソフトウェアです。 (<https://kicad-pcb.org>)

## 改訂履歴

日付 バージョン	変更内容
2020-01-27 ver 1.0	初版発行
2020-07-11 ver 1.01	表現の変更：独自ボード → カスタムボード